

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2024年7月17日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年6月1日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	アーカンソー州立大学(日本語名) Arkansas State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: コミュニケーション学部 現地言語での名称: Communication Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 2023/8～2023/12 2 学期: 2024/1～2024/5 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	14,000
創立年	1909年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 ()	日本円	備考
授業料		0 円	交換留学のため
宿舍費	\$5,000	750,000 円	North Park Quads + Collegiate Park
食費	\$3,000	450,000 円	meal plan + 外食
図書費		0 円	
学用品費	\$350	52,500 円	教科書は高すぎるので様子見で購入
携帯・インターネット費		50,000 円	Yellow Mobile
現地交通費		0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
被服費	\$400	60,000 円	現地でオンラインショッピング
医療費		0 円	
保険費		175,000 円	形態: 東京海上日動と現地の保険
渡航旅費	\$4,000	600,000 円	
ビザ申請費	\$220	33,000 円	SEVIS費用
雑費	\$500	75,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計		2,245,500 円	

※ 数字は半角で入力してください。例)520,000

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田 目的地: メンフィス 経由地: ダラス 復路 出発地: メンフィス 目的地: 羽田 経由地: ダラス
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: Japan Airlines 料金: 30 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL オフィシャルサイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Collegiate Park) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
事前に現地のコーディネーターと手続きのやり取りを行ったが、寮の選択もそのうちに含まれていた。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
1 学期目は、North Park Quads にほとんどの交換留学生在が住んでいた。しかし、冷蔵庫やガスが無く、不便なことが多かった。freshman として留学していたので、居住可能な寮は限られていると思っていたが、交換留學生は特別なようで、現地の freshman は住むことのできない量も交換留學生であれば居住可能と知り、Collegiate Park に引っ越した。そこにはキッチンがあり、私の場合は、授業が行われる建物により近くなったため、引っ越しはとてもよい選択であった。もし、寮に悩んでいるのであれば、Collegiate Park をオススメします。housing 選択のポータルサイトには出てこない寮ですが、担当の現地コーディネーターに連絡に聞いてみたら、OK がもらえらると思います。また、キッチン付きの寮であれば、絶対に VMP \$ 1,000 がおすすめ!!

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

周辺の州で発生した誘拐事件などの情報が携帯にアラートとして届くことが何度かあったが、学校周辺で危険を感じることはなかった。また、学校内では少し席を離れる際に、パソコンなど荷物をそのままにしておく人が多いほど安全で驚いた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

渡航前に、大学から送られてきた Mint Mobile の SIM は使用せず、Yellow Mobile のアメリカ留学生専用 eSIM を購入した。しかし、現地の他大学から来た友人は大学から送られてきた SIM を使用しており、問題ないと言っていたので、そちらでも大丈夫なはず。私の場合、寮のインターネットはそこまで問題はなかったが、部屋によっては、インターネットが繋がりにくいと聞くこともあったので、異国でネットが繋がらなくなるのは怖いので、無制限通信や多めの GB を購入するべきであると思う。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを3枚ほど持っていた。学校関連の支払いで時折、カードがはじかれることもあったが、基本的な買い物でクレジットカードが使えない、といった事態には遭遇したことがない。学校からの助成金で現地生活を送っていたが、必要な場合は親に日本の口座への送金してもらっていた。また、大学では無料で口座開設・デビットカード作成ができる。そのため、ドルの友人間での送金はそちらの口座 (Centennial Bank) で行っていた。その口座には、現金ドル札で入金出来るので、学校のATMで行った。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

現地では基本的に何でも手に入るが、日本の方が確実に安いので、少しでも迷ったら、持っていくべきであると感じた。日本のお菓子も手に入るが、3倍4倍の値段で売っている等、高価なので持っていくに越したことはないと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Principles of Journalism		ジャーナリズムの原理
科目設置学部・研究科	Media	
履修期間	2023/8-2023/12	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dr.Cotton	
授業内容	ジャーナリストに興味を持つ学生向けの授業。ブログサイトを開設し、ひたすらブログを書くことで、文章力・構成力を高める。	
試験・課題等	毎週の課題として、250words 以上(その他条件あり)のブログを書く。中間試験は対面試験、期末試験はみんなで朝ごはんを食べながら対談スタイルであった。	
感想を自由記入	メディアになんとも興味を持って履修を決めた私にとってはかなり難しい授業であった。また、シラバスが先生のブログサイトと連携されており、かなり独特な授業システムであった。先生は質問すれば、優しく答えてくれるので、初めはほぼ毎授業後、質問しに行っていた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business and Professional Communication	ビジネスおよびプロフェッショナルなコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2023/8-2023/12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義やプレゼンテーション (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ms. Oliver
授業内容	基本的に講義形式かプレゼンテーション。
試験・課題等	試験はなく、1学期に4回行うプレゼンで成績が決まる。その他、少々の割合で毎週クイズが出されていたが、超簡単。
感想を自由記入	授業では、教科書を使用するが、その内容は、コミュニケーションスタイルにおける文化の違いや英文の履歴書やカバーレターの書き方などためになるものばかりで、プレゼンが苦でない人にとっては、とてもおススメの授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Composition I	文章構成 I
科目設置学部・研究科	English
履修期間	2023/8-2023/12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Ms. Garcia
授業内容	ひたすら良いレポートの書き方。
試験・課題等	2週に1度ほどで、1000語ほどのレポート提出があった。Compositionは先生によって大きく授業内容が異なるようで、もっと大変な課題を課す先生もいるらしい。
感想を自由記入	英語でのレポートを学期始めから終わりまで書き続けた。そのため、英語でのレポートに対する抵抗はほとんどなくなった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social Work and Health Care Services	ソーシャルワークとヘルスケア
科目設置学部・研究科	Social Work
履修期間	2023/8-2023/12
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ms, Welborn
授業内容	ソーシャルワーカー志望の3,4年生向けの授業。最後はグループプレゼン。
試験・課題等	課題はほぼなく、ディスカッションボードの大きい課題が2回のみ。
感想を自由記入	最初の学期に受けた授業で最も難しい授業であった。内容だけでなく、先生の英語のスピードが驚くほど速く、1学期目にはなかなか大変な授業であると感じた。しかし、先生はとても優しい先生であり、親身になって話を聞いてくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	2024/1-2024/5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Ms. Linda
授業内容	講義形式。社会学の基本を学べる。先生はパワーポイントを使用せず、重要な単語もすべて口頭。
試験・課題等	毎週のクイズ。試験は中間も期末もオンライン(WebCam)。
感想を自由記入	社会学に興味があるので、勉強ははかどるが、基本的に試験対策などは e-book の教科書を自分で読み進めることになる。また、試験前には先生が試験用のキーワードをくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Communication Disorders	コミュニケーション障害入門
科目設置学部・研究科	Communication Disorders
履修期間	2024/1-2024/5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Dr. Akbari
授業内容	コミュニケーション障害を持つ患者の治療法、接し方を学ぶ。
試験・課題等	学期内に10時間学内で学生によって行われる treatment の observation を行う。また、学期内に4回授業のまとめをレポートで提出。
感想を自由記入	専門的な用語が出てくる授業ではあるが、興味深いと感じた。試験もしっかり勉強していれば、点数が取れる。ユニークで温かい先生。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Cultural Anthropology	文化人類学入門
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	2024/1-2024/5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ms. Julie
授業内容	文化に関して学ぶ。パワーポイントを使用した講義形式。
試験・課題等	3週に1度ほどの小さなレポート課題。学内の博物館に行く課題もある。
感想を自由記入	先生は元気で明るい方。個人的にはとても好きな授業であった。教科書を使用するが、事前予習を繰り返したことで、授業の理解度が高まっただけでなく、Reading力の向上も感じた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Archaeology	考古学入門
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	2024/1-2024/5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、Lab(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ms. Julie
授業内容	考古学の基礎。
試験・課題等	試験なし。課題は学期内に1度だけ。学期を通して、20h以上のラボワークは成績の20%であった。
感想を自由記入	ひたすら考古学の話にアクティビティもなく聞き続けるのはかなり大変であったが、学んだことのない分野であったため、勉強になることが多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Elective Fine Arts Photography	選択科目写真
科目設置学部・研究科	Art
履修期間	2024/1-2024/5
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式、講評会(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Ms. Rachell
授業内容	課題のテーマ説明と批評会。
試験・課題等	授業の課題に沿った課題を自分で見つけ出し、それに関連した写真を撮影し、編集。
感想を自由記入	一眼レフを学校から借りて、学期内は自由にどこでも撮影することが出来る。これに惹かれて履修したが、授業はかなり発展的なものであった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中に自分の希望する職種や業界の就活スケジュールを調べていた。インターンに応募するなど帰国後に始めた。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	入学・TOEFL 授業履修
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	留学決定
留学開始年	1月～3月	パスポート申請
	4月～7月	住居手続き・VISA 申請&取得
	8月～9月	渡航
	10月～12月	Thanksgiving Break, Winter Break
留学/帰国年	1月～3月	Spring Break
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

留学をする前と帰国後では、自分の中で大きく変化があったように感じます。留学を決めた理由としては、英語力を伸ばしたい、様々な国の文化に触れたい、という理由でした。実際の現地にはアメリカ人だけでなく、様々な国からの留学生在が来ており、あらゆる文化の友人に出会い、多くの文化に触れることが出来、さらに、英語力にも以前と比べて大きく自身がつきました。しかし、留学で得たものは、それ以上に、冒頭で述べたように、自分自身の成長だと思っています。留学期間中は、将来のことなど、自分のことを考える時間が多くありました。留学は新しいことを経験する機会であり、一人で飛行機に乗って海外へ行くことから始まり、海外の友人が出来ること、一人でアメリカを旅行するなど、以前には無かったことの連続です。これらは多くの発見、学びに繋がりました。今、少しでも留学に興味があるのならば、絶対に後押ししたいな、と思います。もちろん、約 10 か月の海外での生活は大変なこともたくさんありましたが、新しい経験、多くの出会いなど、素晴らしいことが待っています。ぜひ、皆さんにも経験してほしいです。また、留学先は正直、どこでもいいのかな、と思っています。どこの国、地域でも、英語圏でも、そうでなくても、また、日本人が多くいる場所でも、全くいない場所でも、新しい環境で貪欲に過ごすことが大切であると実際に行ってみて感じました。アーカンソー州立大学は、明治大学からは 1 人であったものの、他大学からの日本人、また、現地の undergraduate の日本人学生など、日本人はとても多いです。日本人と話したくなければ、距離を置ける環境であると思いますし、私の場合は、日本語で安心して話すことで日本人の友人に助けられていました。自分のペースでいろんなことに挑戦できる 10 か月の留学生生活は自分にとって忘れられない貴重な経験になりました。皆さんにも、ぜひ TRY してほしいです！